

## 対象プロジェクトの進め方について

地域活動として掲げた5つのプロジェクトについて、その進め方を次のように考えます。

### 1 対象のプロジェクト

現在対象としているプロジェクトは、私の関心やこれまでの仕事の関わりで得た知識を下に組み立てています。また、いずれもその事業範囲も限られた小地域ではなく、市域又はそれ以上の地域を想定しています。

従って、これらは、行政の理解が無ければ実現は不可能であり、町内会等の地域コミュニティ、市民・住民の理解と協力がなければ困難なものばかりです。

対象のプロジェクトについては、相乗効果の期待されるプロジェクトとそれをサポートできる陣容が整えば、随時メニューに追加すればよいと考えます。

行政を始め関係機関等には、助言と協力がいただけるよう、相談を持ちかけつつ進めたいと考えています。

### 2 研究会の立ち上げ

各プロジェクトの考え方は、「地域活動に関する考え方」、「目指すプロジェクト」に示しましたが、参加する市民の目から見て、そのニーズや実現の方策等について、市の実態に即して見直す必要があります。

そのような目的で、それぞれプロジェクトごとに学習会・研究会を立ち上げ、会員で必要な見直しを行います。自薦・他薦で5名程度集まればスタートする考えです。

集まるであろうメンバーが定かでないことから、その運営も困難が予想されますが、会員が営利を目的とせず、地域の活性化に貢献するという意識の下、節目ごとに成果を発表するなど、意見が発散することのないよう配慮します。

### 3 学習会・研究会の進め方

学習会・研究会は、原則として、事前にテーマを絞り、そのテーマについて、各人が箇条書きにした考え方を学習会・研究会の1週間前までに事務局に送付し、事務局がそれらを取りまとめ、全員に転送します。学習会・研究会では、考え方の説明と、それを踏まえた意見交換、必要に応じて集約を図ります。

現在、インターネットで学習会・研究会の参加者を募集していますが、誰もがホームページにアクセスできないというのが実態です。そのため、学習会・研究会を立ち上げる時期の目処は立っていません。

#### 4 活動推進の見極め

各プロジェクトは、一朝一夕にして実現できるものではありません。時間を掛けて取り組む必要がありますが、この取り組みを推進するか否かは、学習会・研究会の設立状況や研究会の意見等を踏まえ、1年程度で結論を出す考えでいます。

推進に値するとの判断がつけば、10年程度の時間を掛け、その間にプロジェクト間、プロジェクトごとに優先度をつけ、一步一步前進していけば良いと考えています。

#### 5 計画書等の作成

「旭川・遍く・労り・慈しむ会」は、NPO法人の設立を目指し、最終的には認定NPO法人の認定も得たいと考えていますが、受け皿があれば、それに委ねることも可と考えています。

法人の設立には、事業計画等準備すべき書類等も多くありますが、それらについては会員で協議すると共に、ホームページ等にも順次掲載する考えです。